

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	59	学校名	宇都宮市立上戸祭小学校
----	---------------	------	----	-----	-------------

令和3年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

心身ともに健康で日本及び国際社会に貢献できる人間の基礎的な資質を養う。

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像など)

心身ともに健康でたくましく、創造力と実践力に満ちた、心豊かな児童の育成
—自分や他人を大切に子ども・進んで学ぶ子ども・たくましく生きる子ども—

2 学校経営の理念 =合言葉：学ぼう 遊ぼう 友だちと=

人間尊重の精神を基盤としたあらゆる教育活動を通して、学校教育目標に掲げた児童の育成を図る。そして、児童が社会の中で自分の能力を発揮し自己実現できるようにするために、「できなかったことができるように、分からなかったことが分かる」ように、児童と教師と学校の power up を図る。

3 学校経営の方針

- (1) 児童の power up のために、個に応じた指導を充実させ、保護者と連携して家庭学習の習慣化を図るとともに、社会性の育成を推進する。
- (2) 児童の power up を支える教師の power up のために、校内研修を計画的・継続的に実施し、授業力の向上を図る。
- (3) 教師の power up を支える学校の power up のために、地域や保護者への情報提供と地域の教育力を生かした取組の推進と働き方改革の推進を図る。

[星が丘中学校地域学校園教育ビジョン]

未来を見つめ、学び続ける力の育成

～星が丘地域学校園の学校文化を築くことを通して～

4 教育課程編成の方針

- ・ 本校の教育目標の実現のために各教科等及び学年間の関連を図り、系統的・発展的な指導を行うとともに、地域や学校の実態、児童の発達段階や特性を考慮し、特色ある教育課程を編成する。
- ・ 学校評価の反省を生かし、本年度の経営方針を踏まえ、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を目指した教育活動の展開を図る。
- ・ 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて工夫改善を図る。

5 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

未来を見つめ、夢と希望に満ちた学校づくり

(2) 学習指導

- ・ 自分の考えや思いを豊かに表現しながら学びを広げるために、互いの意見を伝えあい、学び合うことのできる児童の育成。
- 未来を見つめ学び続ける児童の育成
- ・ 「かみと学校マニフェスト」による学力向上 (めあての提示、学び合う活動の確保、振り返りの時間の設定 等)

(3) 児童生徒指導

- あいさつと言葉遣いを重点とした、望ましい生活習慣と正しい判断力の育成
- 互いのよさを認め合い、自己有用感を高め、他人を思いやることのできる児童の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

- 自らのめあてを明確にし，進んで体力向上に取り組む児童の育成
- ・ 児童の健康な生活習慣の定着

(5) 教職員の働き方改革

- ・ 科担任制の推進と校内業務の効率化の推進
- ・ リフレッシュウイークの奨励

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・ 未来を見つめ学び続ける力の育成
- ・ 豊かな社会性の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

① あいさつと笑顔があふれる「楽しく学べる学校」

- ・ 基礎・基本の定着（国語，算数，家庭学習を中心として）

◇ 互いの意見を伝え合い，学び合う活動の充実

- ・ 心の通うあいさつと相手を思いやる言葉遣いの励行
- ・ 運動の楽しさを味わわせ，運動に親しむ活動の工夫

② 豊かな心を育む「安全で潤いのある学校」

- ・ 児童のよさを認め，励まし，賞賛する運動の充実（帰りの会，掲示物の活用）
- ・ 互いの良さを認め合い，自己肯定感を高め，他人を思いやる心の育成
- ・ 異学年交流等を通じた規範意識の醸成
- ・ 四季を通じた花いっぱい運動の展開（ゼラニウム栽培・学年花壇）
- ・ 潤いのある環境の整備（児童の作品の掲示，かみと水族館，緑陰読書）

③ 地域の教育力を活かした「地域とともに歩む学校」

- ・ 各種学校支援ボランティアの効果的な活用
（ふれあい地域協議会，放課後子ども教室「かみタマ」の活性化）
- ・ 地域とのかかわりを生かした学習活動の充実
（「各教科等への地域の参画」「地域と学ぶ日，ありがとうの日の設定」）

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む）

① 基本的考え

- ・ 地域社会との連携・協働によりその実現を図る「社会に開かれた教育課程」具現化のため，これまで本校が取り組んできた教育活動の改善・充実を進める。

② 主な取組

- ・ 地域に学ぶ活動の積極的導入
「ボランティアとの交流による学びや活動」「地域と学ぶ日，ありがとうの日の設定」
- ・ オープンスクール等の実施

(2) 小中一貫教育・地域学校園

① 基本的考え

- ・ 「児童生徒の自己肯定感を高める」ことを，各部会・分科会共通の重点目標とし，年間の活動計画に反映させるとともに，職員一人一人の日々の指導への浸透を図る。

ア 学習……学び続ける意欲の向上

イ 健康・体力……体力の増強と健康な生活習慣の定着

ウ 生活……社会的な自立を目指す指導の充実と，いじめ・不登校対策の強化
特別な支援が必要な子どもへの指導の継続

エ 学校運営……児童生徒の交流促進と教職員間の連携強化

- ・ 学校の働き方改革が進められている状況を踏まえ、取組のスリム化を図る。
 - ・ 一人職の分科会においては、相互支援体制の強化・充実を図る。
- ② 主な取組
- ・ 全職員による「認め励ます教育」の実践
 - ・ 各部会・分科会・教科分科会の実施充実
 - ・ 乗り入れ授業の実施（中→小）：算数と英語で実施（10～11月頃）
- (3) 不登校対策
- ① 基本的考え
- 不登校を学校における最重要課題の一つととらえ、不登校を生まない学級・学校経営に努めるとともに、不登校及びその傾向がある児童への支援を組織的に行う。
- ② 主な取組
- ・ 担任及び児童相互の「認め励ます言葉かけ」を中核とした居心地の良い学級づくり
 - ・ 過去の欠席等の状況や集団への適応状況に関する情報共有と対応の協議・実施
 - ・ 不登校の予兆と思われる状態への初期対応の確実な実施
 - ・ 不定期的な部分登校や別室登校への柔軟な対応
 - ・ 保護者支援と外部機関との連携
- (4) GIGAスクール構想
- ① 基本的考え
- 新たに導入される一人一台端末や高速通信ネットワーク等のICT環境を活用し、個別最適な学びや創造性を育む学びの実現を目指すとともに、学校の業務負担軽減につながる取組を推進する。
- ② 主な取組
- ・ 一人一台端末の登録・保管とICT支援員を活用した効率的な使用環境の構築
 - ・ ICT活用研修によるリテラシー向上、利用に関するルールづくりと共通理解
 - ・ 授業や朝の学習等での一人一台端末の活用実践（日常の文具、指導の個別化）
 - ・ 学校外での使用に向けた諸準備、不登校対応を含む家庭学習への活用方法の検討
- (5) 宇都宮学
- ① 基本的考え
- 郷土への愛情や誇りが育まれるよう、社会科、総合的な学習の時間等を通じて宇都宮の歴史や伝統文化、産業等への理解を深める学習の充実を図る。
- ② 主な取組
- ・ 総合的な学習の時間や社会科の年間指導計画の見直し
 - ・ 宇都宮市の良さを具体的、実感的に捉える学習活動の工夫（市施設巡りの代替となる校外学習、出前講座等の設定）
 - ・ 地域の人材を活用した教育活動や交流活動の充実